

佳作

## タイムスリップ

千葉県 千葉市立星久喜小学校五年 廣瀬 梨花

「ああ・・・」

私はすばらしきあまり金閣寺にひきずりこまれそうだった。金閣寺に夏の太陽があたってかがやき、水面にも美しいすがたがうつしだされていた。

日本には、たくさんの世界遺産がある。法隆寺や金閣寺、銀閣寺、清水寺、原爆ドーム、白神山地、屋久島などが世界遺産に登録されている。テレビで何度か見たことがあるが、やっぱり本物を直接見てみたいと思った。両親も同じ考えだったので、夏休みの家族旅行に京都・奈良方面に行くことにした。

いくつか見てみたい寺や仏像の下調べをしてみた。人の力で数年、数十年もかけてつくり上げていく工程は気が遠くなりそうなほどだ。実さに見てみると、昔の人の技術のすごさに圧とうされた。

法隆寺の五重のとうは世界で一番古い木造建築である。とうの心柱の周りには、粘土にシヤカの一生が表じよう豊かにほられている。ある粘土にはシヤカの死を多くの弟子がなげいている場面がほられている。建物は古いだけでなく、五枚の屋根のバランスがよく美しい形のとうになっている。現在は色あせてしまっているが、仏教からくる色使いは、当時のとうを美しく見せていたと思う。

奈良の大仏、金閣寺、清水寺、その他の建物、仏像がすばらしいのはどうしてだろう。見えない所までいねいに作ってある。当時のはい景から考えると、人々を病気や自然災害から守るための強い願いが細かい

作業となって表されているのだろうか。

有名な建物や、えい画を見るとすごいなと心ぞうがドキドキしたりするのはなぜだろう。ここにいると気持ちが落ちつく。ずっとずっとここにいたい。目をとじると、昔にタイムスリップしたような感じになった。

東京が近づくにつれて、私は不安になってきた。はんかがいにはまぶしいくらいにネオンが光っている。高そうビルばかりが不き則に建ちならび、そう音と光で落ちつかず、どつとつかれがでてきた。便利さばかりが重視され、建物はどんどん競うかのように空へのびている。

私はこんなことを考えた。未来の人は今の建物や街を見てどう思うのだろう。私は昔の建物を見て、声が出ないほど感動した。では未来の人は今の建物を見て感動するか。生活様式、技術の発てんをほこりに思ってくれるのか。人々はいつ気がつくのだろう。人間が自然をこわし、ふるさとをよごしているということに……。

この夏に世界遺産の町をおとずれたことはとてもよい経験になった。感動にも、いろいろな感じ方があることをしり、心が動くことによって、新しいことを考えることができた。